

# 東京女子大 東寮、体育館

## 来年解体予定

# 「東女の歴史残して」

永井路子さん、  
時枝俊江さんから 卒業生ら保存訴え

米国人アントニン・レ  
ーモンドが設計した東京  
女子大（杉並区）の旧学  
生寮「東寮」と体育館が  
来年、キャンパス再整備  
に伴い解体される問題  
で、卒業生らで作る「東  
京女子大学レーモンド建

築 東寮・体育館を活か  
す会」（藤原房子代表）  
が、保存を求める707  
7人の署名を集めて大学  
側に提出した。2日の緊  
急シンポジウムでは、卒  
業生の作家、永井路子さ  
んらが建物の魅力を訴え  
るなど、「東女」の歴史  
を残そうという声が高ま  
りつつある。

旧学生寮は日本初の女  
子個室寮。創立者・新渡  
戸稲造の「自室で一日一  
度は瞑想するように」と  
の考えに基づいている。  
西寮は既になく、東寮も  
来年夏、体育館とともに  
取り壊しが始まる。

また、藤岡洋保・東京  
工業大学教授（建築史）  
は、「創立者の高い志に  
基づき極めて合理的に作  
られた建物」と強調。西  
澤英和・京都大学講師  
（建築構造）は「阪神大  
震災の数十倍のエネルギー  
を持っていった関東大震  
災に耐えており、構造的  
に申し分ない」と語った。

【市川明代】



保存の意味についてシンポジウムで話し合う（右から）  
永井さん、時枝さん、藤岡さん、西澤さん

だが、建物の価値は高  
く、卒業生や建築家を中  
心に、保存を求める声が  
強い。「活かす会」は9  
月中旬から署名を集め、  
11月10日に大学側へ提出  
した。

同会が2日に開いたシ  
ンポジウムでは、西寮で

を開いて風呂の燃料費を  
稼いだ逸話などを披露。  
「レーモンドは、キリス  
ト教的自立主義を学びや  
すい形を作ってくれた」  
と振り返った。